

東京都議会議員 渋谷区選出



中田たかし
東京都議会立憲民主党

1989年(平成元年)9月生まれ34歳。駒澤大学法学部卒業、明治大学公共政策大学院修了。
ながつま昭衆議院議員の元公設秘書。2019年4月に渋谷区議会議員、2021年7月に東京都議会議員当選。
経済・港湾委員会所属、都市計画審議会委員。政務調査会副会長、財政委員会会理事を歴任。

税収プラスで5.1%の予算増 教育無償化、物価高騰対策の要望実現



〈本議論討議〉

都議会第1回定例会では、令和5年度最終補正予算案を審議・可決し、現在、令和6年度予算案の審議を行っています。

都税収入は、昨年に引き続き好調な法人2税に支えられ、6兆3,865億円となり、前年度当初予算に比べて1,855億円の增收となりました。

一方、物価高騰で都民生活は、厳しさを増しています。東京都議会立憲民主党は、物価上昇を上回る賃上げ実現に向けて、知事への予算要望、代表質問を行いました。その内容や予算案に盛り込まれた新規事業・主要事業などをご報告します。

都政へのご意見・ご要望をお気軽にお寄せください。

要望 給食費の無償化

予算に反映

- 東京都公立学校給食費負担軽減事業／239億円
- 都立学校給食費負担軽減事業／20億円

さらなる提案

これまで何年にもわたって求めてきた給食費の無償化に向けて、ようやく東京都が一步踏み出しました。しかし、事業名に「負担軽減」とあるように、残念ながら完全な無償化とはなっていません。

区市町村が保護者負担を軽減する場合に都が2分の1を補助するという内容です。都議会立憲民主党は、すべての区市町村で無償化が実現するように、都として、財源を手当てするように求めています。

要望 カスハラ対策条例

カスタマーハラスメント(カスハラ)とは、顧客が企業に対して理不尽なクレーム・言動をすることをいいます。具体的には、事実無根の要求や法的な根拠のない要求、暴力的・侮辱的な方法による要求などがカスハラに当たります。

予算に反映

- カスタマーハラスメント対策条例制定に向けて検討(知事答弁)
- ハラスメント防止対策推進事業／0.75億円

さらなる提案

カスタマーハラスメントは、働く人の尊厳を傷つけるものであり、カスハラをしない、させない、許さない社会づくりに向けて、実効性のある条例の早期制定を求めていきます。



中田たかし事務所

皆様の都政へのご意見・ご要望をお気軽にお寄せください!

要望 物価高騰対策

予算に反映される

- 物価高騰対策臨時くらし応援事業／227億円
- 中小企業の従業員待遇改善応援事業／0.1億円
- 非正規・ひとり親・困難を抱える女性等向け就労自立支援／0.4億円
- キャリアチェンジ再就職支援事業／30億円
- 非正規向け特別支援／1.5億円

さらなる提案

好調な企業収益による税収増は、格差是正やコロナ禍から立ち直っていない人のために使うことが必要です。労使交渉が原則ですが、物価上昇を上回る賃上げが行われるように、知事も働きかけることを求めています。背景には、中小企業が取引先の大企業との価格交渉で、人件費を議題に載



せられない実態があります。現場では困難を抱えていることから、知事による賃上げの気運醸成も必要です。

要望 高等学校の無償化

予算に反映される

- 私立中学校等特別奨学金補助／81億円
- 私立高等学校等特別奨学金補助／600億円
- 都立高等学校の授業料実質無償化／41億円

さらなる提案

都議会立憲民主党は、教育の無償化を長年にわたって提案し、昨年、高等学校について、一部実現しましたが所得制限がありました。教育は親の所得に

関係なく、すべての子どもが無償で受けられるよう



にすべきとの理念から、所得制限の撤廃を強く求め、今回実現しました。さらに、学校教育にかかる教材費などの無償化を実現するため取り組んでいきます。

要望 ケアラー支援条例

予算に反映される

- ヤングケアラー相談支援事業／3億円
- ヤングケアラー・コーディネーター連絡会等／700万円他合計7.6億円

さらなる提案

最も弱い存在である子どもによる家族ケア=ヤングケアラーに対して、ようやく予算がつき支援体制がつくられつつあります。都議会立憲民主党は、子どもも含めたすべてのケアラーを支援するための条例を制定し、それに基づいて総合的な支援体制を構築することを提案しています。

要望 家賃補助制度

予算に反映されず

- 東京都独自の家賃補助制度／0円

さらなる提案

都議会立憲民主党は、住まいの安定は最もベーシックな生活保障であると考えています。そのため、住宅に困窮する人に対して、都として家賃補助を行うように求めています。都内では不動産価格の高騰によって、家賃も高くなってきており、ますます喫緊の課題となっているため、実現に向けて全力で取り組んでいきます。



要望 デフリンピックを契機とした社会変革・情報コミュニケーション保障

デフリンピックとは、デフ+オリンピックのこと。デフ(Deaf)とは、英語で「耳がきこえない」という意味。デフリンピックは国際的な「ろう者のためのオリンピック」です。

予算に反映される

- ユニバーサルコミュニケーション技術導入に係る推進事業／0.8億円
- 鉄道駅ユニバーサルコミュニケーションシステム整備事業／0.9億円

さらなる提案

日常生活の中で、音声で提供される情報は多く、即時性・緊急性のある内容もあります。聞こえない人に伝えるために、音声情報の可視化を進める必要があります。電車内でのアナウンス、ビルやエレベーターの火災警報や緊急連絡などの可視化に向けて都の支援を求めます。

